

下川町の持続可能性診断

第3回 「半分以上は町内で買物」

持続可能な地域社会総合研究所

所長 藤山 浩



第3回からは、経済分野に進みます。まず、地域内での買い物状況です。食料と燃料部門について、住民の家計調査と事業者への仕入状況調査からまとめました。今回は、食料部門を分析します。

下図の一覧表にあるように、全体の55・8%を下川町内で購入しています。そして、地元産の購入割合は10・1%となっています。みなさんの中には、意外と低いなとお感じの方もいるかもしれません。実は、全国的に同規模の地域と比べると、下川町の域内購入率と地元産購入率は、比較的高い方

お問い合わせ
政策推進課
☆4 | 2511 | 内線235
☆4 | 2511 | 02

なのです。近年は、地方都市への大型店の進出等があり、中山間地域では軒並み域内購入率と地元産購入率が下がっているのです。

次は、品目別の傾向を見ていきます。域内購入率が高い上位5品目は「卵」、「牛乳」、「非アルコール飲料」、「パン」、「めん類」となっています。地元産購入率が高い上位5品目は、「めん類」、「総菜おかず」、「パン」、「お菓子」、「非アルコール飲料」となっています。やはり、「地元特産の「手延べめん」やトマトジュースは、地元でも愛されているようです。そして、地元のパン屋さんもがんばっていることがわかります。

注目すべきは、外食部門の6割を超える域内利用率の高さです。同規模の山間地域でここまで高い事例はほとんどありません。私もファンですが、下川の飲食店は、おいしい店揃いですね。

品目	域内購入額	域外購入額	地元産購入額	域内購入率	地元産購入率
米	¥10,495,447	¥34,273,840	¥0	23.4%	0.0%
パン	¥32,075,327	¥11,115,068	¥18,517,347	74.3%	42.9%
めん類	¥10,332,092	¥4,131,718	¥8,631,773	71.4%	59.7%
粉物・穀類	¥323,485	¥1,056,382	¥0	23.4%	0.0%
生鮮野菜	¥33,704,915	¥38,437,801	¥153,580	46.7%	0.2%
野菜加工品	¥24,418,387	¥15,792,452	¥5,866,361	60.7%	14.6%
生鮮果物	¥12,840,581	¥18,783,791	¥0	40.6%	0.0%
生鮮肉	¥24,709,005	¥27,419,171	¥0	47.4%	0.0%
肉加工品	¥5,832,676	¥6,472,424	¥0	47.4%	0.0%
鮮魚	¥30,642,154	¥42,734,182	¥0	41.8%	0.0%
魚加工品	¥8,037,476	¥11,209,231	¥0	41.8%	0.0%
冷凍食品・インスタント食品	¥13,989,978	¥15,274,399	¥0	47.8%	0.0%
牛乳・乳製品	¥44,637,348	¥7,259,264	¥0	86.0%	0.0%
油・調味料	¥19,449,321	¥30,335,431	¥0	39.1%	0.0%
卵	¥12,284,721	¥1,997,834	¥0	86.0%	0.0%
お菓子	¥36,472,082	¥26,234,666	¥20,853,197	58.2%	33.3%
総菜おかず・弁当など	¥48,737,706	¥26,434,854	¥36,213,884	64.8%	48.2%
コヒー豆粉・ココア粉・茶葉等	¥4,088,181	¥5,305,238	¥0	43.5%	0.0%
非アルコール飲料	¥24,804,731	¥8,189,991	¥6,139,992	75.2%	18.6%
アルコール飲料	¥46,135,550	¥31,240,236	¥0	59.6%	0.0%
外食	¥85,597,165	¥56,523,142	未分析	60.2%	未分析
小計	¥529,608,328	¥420,221,116	¥96,376,134	55.8%	10.1%